

生活と防災

～多摩地域特有の帰宅困難とは～

田中 優 氏（大妻女子大学教授）・堀 洋元 氏（同准教授）

日時：平成30年 11月 2日（金） 15:00～16:30

場所：多摩キャンパス7号館

（講演教室は、当日、掲示にてご案内いたします）



<講師紹介>

田中 優

（タナカ マサシ／TANAKA Masashi）

大妻女子大学人間関係学部人間関係学科

社会・臨床心理学専攻 教授。

主な研究分野は、社会心理学。対人関係、被服行動。著書「対人心理学の視点」（共著）など、著書・論文多数。



<講師紹介>

堀 洋元

（ホリ ヒロモト／HORI Hiromoto）

大妻女子大学人間関係学部人間関係学科

社会・臨床心理学専攻 准教授。

主な研究分野は、社会心理学、災害心理学、防災、惨事ストレス。著書「生きる力を育む生徒指導」（共著）など、著書・論文多数。

<講演概要>（講師から皆さまへ）

災害時、ベッドタウンである多摩地区の住民あるいは在勤・在学者の多くは帰宅のための交通手段が断たれ、帰宅困難者となる可能性が大きいと言われていています。都心部、たとえば新宿から多摩市までの距離は約30kmあり、平常時でさえ大人の足でも6時間程度、災害時にはさらに時間を要するため、高齢者や子ども連れの家族、妊娠中の女性、障害をかかえた人々にとっては困難な帰宅となります。

この講座では、このような状況下でどのような知識が必要か、どんな知恵が活かせるか、どのような判断をすべきかについて、わが身になって考える機会になればと思います。